

事業報告書 (令和 2年度)

事業名 街のすこやか保健室

団体名 一般社団法人すこやかのわ 担当者名 木林 京子

※活動の様子がわかる写真（データもお願いします）と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

毎月1回、おいでんせえカフェさんでの、体にも心にもやさしい、地元の旬の食材を使ったランチやスイーツ、ドリンクを食べたり飲んだりしていただきながら、子育て中のお母さんや、お父さんにお子様と一緒に気軽に来ていただき、ほっこりとした時間を過ごしていただきながら、普段、なかなかどこに聞いてよいか分からないことを、気軽に質問していただいたり、食や遊び、病気の時の対応、生活環境や習慣、産前産後のケアなど子育てに大切な情報を共有させていただいたりした。助産師や看護師、作業療法士、小児科医などの医療の専門家に加えて、食の専門家など、多分野・多職種での連携を行うことで、より広く多角的な視点からの情報やアドバイスも可能な場となっている。また、子育て中のお母さんやお父さんのみでなく、様々な形で子育て支援を行う多職種の方の交流の場にもなっている。

2020年6月14日（日）

場所：おいでんせえカフェ（くらしのたね内）

参加対象者：子育て中の親子、子育てに関心のある方、

参加人数：大人3名、子ども4名

内容：赤ちゃんがお母さんのお腹の中にいた時のお話

2020年7月12日（日）

場所：おいでんせえカフェ（くらしのたね内）

参加対象者：子育て中の親子、子育てに関心のある方、

参加人数：大人5名、子ども7名

内容：発達と遊びのお話

2020年8月9日（日）

場所：おいでんせえカフェ（くらしのたね内）

参加対象者：子育て中の親子、子育てに関心のある方、

参加人数：大人4名、子ども6名

内容：産前産後に役立つマインドフルネス

(様式第8号)

2020年9月13日(日)

場所：おいでんせえカフェ(くらしのたね内)

参加対象者：子育て中の親子、子育てに関心のある方、

参加人数：大人4名、子ども3名

内容：すこやかな眠りのために



2020年10月11日(日)

場所：おいでんせえカフェ(くらしのたね内)

参加対象者：子育て中の親子、子育てに関心のある方、

参加人数：大人4名、子ども5名

内容：遊びの効用



(様式第8号)

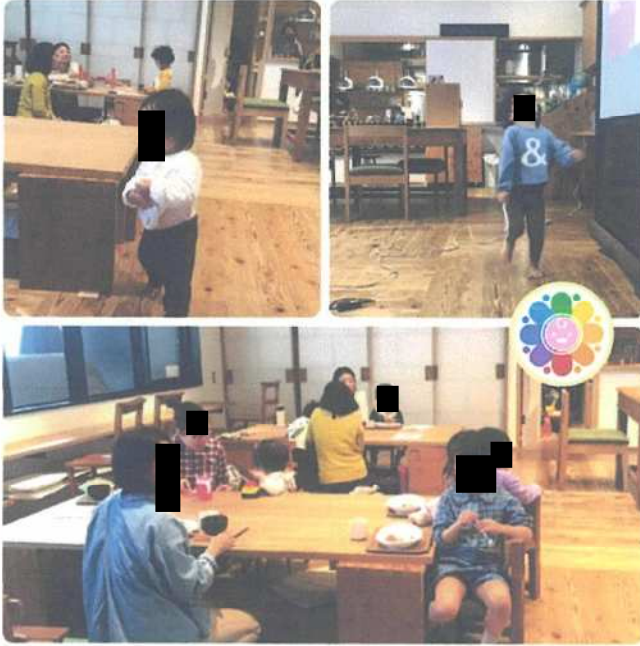
2020年11月8日(日)

場所：おいでんせえカフェ(くらしのたね内)

参加対象者：子育て中の親子、子育てに関心のある方、

参加人数：大人5名、子ども5名

内容：インフルエンザや冬の風邪対策



2020年12月20日(日)

場所：おいでんせえカフェ(くらしのたね内)

参加対象者：子育て中の親子、子育てに関心のある方、

参加人数：大人7名、子ども4名

内容：クリスマスパーティー ～冬休みの過ごし方～



ハッピー
メリークリスマス



(様式第8号)

2021年1月17日(日)

場所：おいでんせえカフェ(くらしのたね内)

参加対象者：子育て中の親子、子育てに関心のある方、

参加人数：大人8名、子ども8名

内容：これからの時代を生き抜く自尊心とソーシャルスキル



2021年2月21日(日)

場所：おいでんせえカフェ(くらしのたね内)

参加対象者：子育て中の親子、子育てに関心のある方、

参加人数：大人8名、子ども7名

内容：いのちにふれる～ふれあいの効用～



2. ESDの視点を取り入れたところ、ESDの視点で見直したところ

多職種での妊婦さんや子育て中のお母さん・お父さんとのつながりや、子育て支援をされている方との交流の場を作ることで、子育ての早い段階から、質の高い乳幼児の発達・ケアや質の高い教育につながり、さらには、あらゆる年齢・年代になっても健康的な生活を送るための土台作りになると考え、毎日の生活の中に取り入れて育くみやすいように、お話の内容や時間の組み立て方なども工夫をした。また、生後、間もない乳幼児期から、親子でのふれあいを増やすことで、子どもも親も心地よさを大切にできることが、ジェンダーの平等や女性と女兒のエンパワーメントにもつながることを考慮し、内容にも、親子でのふれあいを家庭でも増やしていただけるよう、自宅でも簡単に取り入れやすいワークも意識的に行った。

3. 取組の成果（参加者にどのような意識や行動の教育上の成果があったか。感想など）

毎回、たくさんの前向きな感想をいただいているので、その一部をご紹介します。

- ・皮膚のふれあいがどれだけ大切か、はじめて知りました。
- ・性について考えると、恥ずかしいイメージがありましたが、まずは、快・不快についていしきて子どもと関わっていくことが大切だなと思いました。
- ・コロナの中でも、親子のふれあい、心のふれあいを大事にこれからもしていきたい。
- ・子どもの個性を大切にしていきたいと思いました
- ・コロナに気をつけながらも、もう少し外に出てみようと思いました
- ・救急の受診の目安が分かって良かったです
- ・なるべく、外で遊ぶ機会を作って、早く寝るようにしたいと思います
- ・より子どもの本来の力を信じて、一緒に楽しんで生きていきたいです。
- ・だしなど食事は大切にしていますが、より大切にしたいと思います。

4. 今後の課題と展望

今年度は、毎回、テーマを決めて、完全予約制での開催でしたが、令和3年度は、場所もより家族連れが訪れることの多い場所へ移り、予約の方のみでなく、たまたま、通りがかった方にも、自由に気楽に来ていただいて、子育ての中で、普段、気になっていることなどを、より気軽に聞いていただける場所にしてゆきたいと思います。

また、岡山で子育てを応援されている様々な活動をされているグループの方たちとの交流の幅をさらに広げて、孤立をする家族がなくなることを目指して、地域ぐるみで、いろいろな形で子育ての応援ができるように発展させていきたいと思います。